



11月6日（木曜日）～8日（土曜日）の3日間、札幌市のザ ロイヤルパーク キャンバスホテル札幌大通公園及び丸井今井札幌本店を会場に、北海道文化マテリアル協会が主催するイベント『MAISON de HOTEL + O#今# vol.3』が開催されました。北海道森林管理局も本イベントに出演し、国有林の魅力を広くPRしました。

このイベントは、北海道の素材を通じて地域や文化とのつながりを創出し、ものづくりを通じて社会課題の解決と市民生活への貢献を目指すものです。

#### 【北海道森林管理局の取組】

当局は、若手有志が中心となって、丸井今井札幌本店地下2階にて、森林の循環利用や山の仕事を紹介するイラスト・写真のパネル展示を実施しました。さらに、『北の森漫画』や『フォレスピカード(※)』を配布し、来場者に国有林の魅力を身近に感じていただきました。



丸井今井札幌本店地下2階の展示ブース



森林の循環利用のイラスト



山の仕事を紹介する写真



配布物（北の森漫画・フォレスピカードなど）



国有林の取組や配布物について説明

今回配布したフォレスピカードは、イタヤカエデ・エゾヤマザクラ・シナノキ・シラカバ・ヤマグワの5種類。特に、エゾヤマザクラが人気で、子どもから大人まで多くの方に喜んでいただきました。

※フォレスピカードとは、北海道の森の木を擬人化したキャラクター「フォレストスピリット(森の妖精たち)」のカードです。



フォレスピカードを選ぶ子どもたち

## 【トークイベントで森林の魅力を発信】

11月6日夜には、ホテルラウンジでトークイベントを開催。北海道木材組合連合会の内田副会長と当局職員の平田が司会を務め、会場を盛り上げました。



熱気と笑顔が交差する、最高のひととき

## 【アンケート調査と今後の取組】

約700名の方にアンケート調査へご協力いただき、貴重なご意見をいただきました。これらの声を今後の広報活動に活かしていきます。

今後も国有林の魅力を発信し、地域とともに歩む取組を進めてまいります。



多くの方にご協力いただきました